

建設技術展等の開催報告

建設技術公開「EE 東北 '17」開催される ～広げよう新技術つなげよう未来へ～

EE 東北実行委員会事務局

建設事業の新材料，新工法，その他時代のニーズに対応し開発された新技術を公開する「EE 東北 '17」が，6月7日（水）～8日（木）夢メッセみやぎにて開催されました。

EE 東北は，建設事業に係わる新工法，新材料，その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し，その普及を図ることにより，新たな技術開発の促進と良質な社会資本の整備を通じて社会に寄与することを目的として，1990年から開催している展示会で，今回で27回目となります（EEとは英語のEngineering Exhibitionの略です）。

復興を加速化する新技術や国土交通省が推進する建設現場の生産性を向上させる取組み「i-Construction（アイ・コンストラクション）」の対象技術など，さまざまな新技術が869技術（出展者数292社）展示されました。

また，近年普及が進む「UAV（ドローン）」による競技会も同時開催し，2日間で15,700人の来場があり，EE 東北来場者の記録更新となりました。

1. EE 東北 '17 実施内容

今回も非常に多くの関係企業・団体等に参加をいただき，屋内・屋外とも展示場いっぱいの展示会となりました。

展示場内では，「設計・施工」，「維持管理・予防

保全」，「防災・安全」などの5つの技術分野ごとに
出展者によるブースを設置して，新技術に関するパネルや映像を交えた展示のほか，出展技術である重機や建設資材，模型などにより，訪れた方々に新技術を見て，聞いて，触れていただきました。

開催のスケジュール，各技術分野ごとの出展技術数は，表-1，2のとおりです。

表-1 開催スケジュール

内 容	開催日
開会式 ・開会宣言，主催者あいさつ，来賓祝辞， テープカット	6月7日（水）
新技術展示会 ・出展者数 292 社 ・出展技術数 869 技術	6月7日（水） 6月8日（木）
新技術プレゼンテーション ・64 技術（題）	6月7日（水） 6月8日（木）
UAV（ドローン）競技会 ・総合技術部門7チーム ・一般参加部門8チーム ・FPV*実演	6月8日（木）
特設コーナー ・大学研究室の展示 ・出展企業紹介コーナー ・橋梁模型入賞作品展示 ・防災アニメーション上映 ・技術パネル展示	6月7日（水） 6月8日（木）

※ FPV：First Person View，一人称視点の略

表-2 技術分野別出展者数，技術数

技術分野	出展者数	技術数
(A) 設計・施工	97	298
(B) 維持管理・予防保全	108	302
(C) 建設副産物・リサイクル	14	33
(D) 防災・安全	58	185
(E) その他共通	15	51
計	292	869

2. 開催状況

(1) 開会式

第27回目の開催となる「EE東北'17」は、6月7日10時にEE東北実行委員長の開会宣言、構成団体代表15名によるテープカットにより盛大に開幕しました（写真-1）。

(2) 展示会場

屋内展示場では、設計・施工に関する技術をはじめ、維持管理・予防保全技術等の5つの技術分野に区分し展示されました。また、国土交通省が

生産性向上へ向けて推奨する「i-Construction」の中核となるICT技術を活用した新たな技術やバーチャルリアリティ（VR）を取り入れた最新の技術、また、高校生による機械の操作体験など、各出展者ブースでは、工夫を凝らした展示がされていました。

屋外展示場では、大型の機械、製品などの展示や実演により、新技術を実物により体感していただきました。

展示場内は、多くの人で賑わい、各展示ブースにおいて、来場者が足を止め熱心に説明を受けている姿が見受けられました（写真-2～5）。



写真-1 開会式テープカット



写真-2 屋内展示場の様子

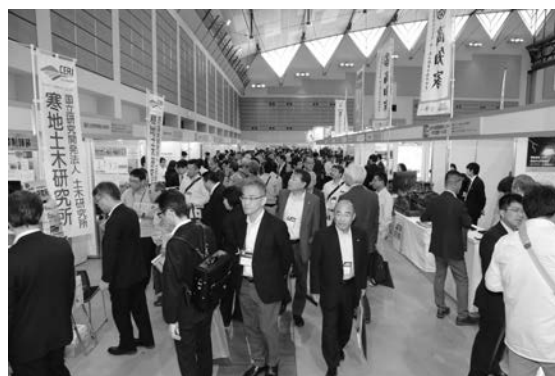


写真-3 大勢の来場者で賑わう屋内展示場



写真-4 VRによる高校生の操作体験



写真-5 屋外展示場での実演の様子

(3) 新技術プレゼンテーション

出展技術について、より理解していただくための新技術プレゼンテーションを行いました。「設計・施工」、「維持管理・予防保全」などの5つのテーマで64技術が出展者から紹介され、2日間で約3,000人の方々に聴講していただきました(写真-6, 7)。



写真-6 熱心に聞き入る聴講者

(4) 特設コーナー

館内コンコースには大学研究室の招待ブースの他、特設コーナーを設置した展示が開催されました。

国土交通省 TEC-FORCE の活動紹介および東北地整での ICT 活用事例のパネルの展示や、高校生橋梁模型作品発表会の入賞模型作品の展示等が行われました(写真-8~11)。



写真-7 プレゼンの様子



写真-8 ICT 活用事例パネル展示状況



写真-9 TEC-FORCE パネル展示状況



写真-10 高校生製作の橋梁模型展示



写真-11 大学研究室の展示ブースの状況

また、学生向けの出展企業紹介コーナーとして、各社リクルートパンフレットを設置しました。

多種多様な展示内容に、来場者の好評を得ていました。

(5) UAV (ドローン) 競技会

近年、空撮や測量などの分野における UAV (ドローン) 活用が普及していることから、建設事業における UAV 技術の利活用と、さらなる技術開発の促進を目指し開催しました。

UAV 技術は、「i-Construction」技術の1つでもあり、本競技会には延べ2,000人が見学を訪れ、注目度の高さが伺えました。

空撮技術や計測技術の競技を通じて、ますますの技術力向上が期待されます。

競技は2部門で行われ、EE 東北 '17 の出展者を対象に、橋脚を模した構造物に予め施しておいた破損やクラック等を計測し、その精度を競う「総合技術部門」と、応募により誰でも参加可能な、UAV の操縦技術と指定されたターゲットを撮影する空撮技術を競う「一般参加部門」で実施しました(写真-12～14)。

競技の結果、総合技術部門「株式会社アスコ大東」、一般参加部門「岩手スカイイメージング」が優勝しました。

3. おわりに

EE 東北は、新技術を積極的に情報発信し、新技術を提供する人とそれを必要とする人との良い出会いや交流する場となり、ここで公開された新技術が多くの現場で採用されること、「i-Construction」の推進により、東北の復興加速とさらなる発展へつながることを期待しています。

また、次回の EE 東北 '18 も平成 30 年 6 月 6



写真-12 UAV (ドローン) 競技 総合技術部門の様子



写真-13 UAV 競技 一般参加部門の様子



写真-14 参加者との記念撮影

日、7日に今回の会場と同じ「夢メッセみやぎ」において開催されます。多くの方の来場をお待ちしています。